



<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年5月18日

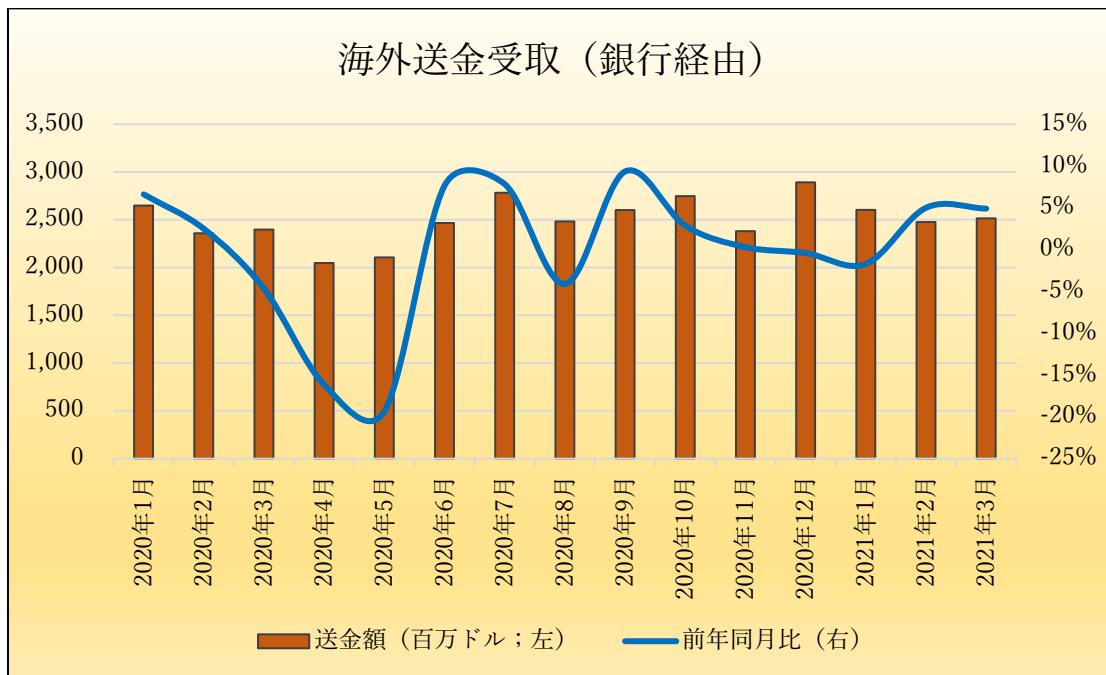
フィリピン1~3月 OFW+2.6%

フィリピン中央銀行(BSP)によると、2021年3月のフィリピン人海外出稼ぎ労働者(OFW)を含む在外フィリピン人からの送金額(銀行経由)は、前年同月比+4.9%の25億ドル(約2,730億円)だった。1月に続き、伸び率はプラスだった。

また1~3月の送金額は、前年同期比+2.6%の76億ドルだった。国・地域別では米国からの送金が最も多く、全体の40.8%を占めた。

昨年は通年で前年比-0.8%のマイナスの伸びであったOFWは、先進国の経済活動再開にともなう海外渡航者受け入れや新型コロナワクチン接種の広がりを背景に回復しつつある。

送金に家族間の贈与などを含めた個人間移転については、3月は前年同月比+5.6%の28億ドルだった。1~3月は前年同期比+2.9%の85億ドルだった。



出所：BSP

<http://www.capital-am.co.jp>

以上